

# 一般演題プログラム

口頭発表 1

日時：9月2日（土）13:30～17:30

場所：E棟1階 E111講義室

※座長は、大会事務局で協議の上、選定した方々にご依頼しております。

（本大会は、前演者が座長を務めるという形式から変更いたしました。）

発表時間 13:30～13:45

O-01. 転写活性強化型 Oct3/4 連結 poly-cistronic ベクターを用いたニワトリ体細胞由来 iPS 細胞の樹立

- 片山 雅史<sup>1,2,3</sup>, 平山 貴士<sup>4</sup>, 谷 哲弥<sup>5</sup>, 西森 克彦<sup>2</sup>, 大沼 学<sup>1,3</sup>, 福田 智一<sup>3,6</sup> (1 国立環境研生物センター, 2 東北大学大学院農学研究科, 3 国立環境研野生動物ゲノム連携グループ, 4 順天堂大医産婦人科, 5 近畿大学農学部, 6 岩手大学総合科学研究科理工学専攻)

発表時間 13:45～14:00

O-02. オガサワラオオコウモリ由来の無限分裂細胞の作成の試み

- 福田 智一<sup>1</sup>, 鈴木 真奈美<sup>1</sup>, 片山 雅史<sup>2</sup>, 清野 透<sup>3</sup>, 大沼 学<sup>2</sup> (1 岩手大学理工学部, 2 国立環境研究所生物・生態系環境センター, 3 国立がんセンター研究所)

発表時間 14:00～14:15

O-03. 京都大学野生動物研究センターにおける Genetic resource bank の概要及び応用例

- 伊藤 英之<sup>1,2</sup>, 佐藤 悠<sup>1</sup>, 小林 宏美<sup>1</sup>, 森村 成樹<sup>1</sup>, 大沼 学<sup>3</sup>, 村山 (井上) 美穂<sup>1,3</sup> (1 京都大学野生動物研究センター, 2 京都市動物園, 3 国立環境研究所野生動物ゲノム連携研究グループ)

発表時間 14:15～14:30

O-04. 希少野生動物の配偶子バンクの整備に向けて

- 金子 武人<sup>1</sup>, 大沼 学<sup>2</sup>, 村山 美穂<sup>3</sup> (1 岩手大学理工学部, 2 国立環境研究所生物・生態系環境研究センター, 3 京都大学野生動物研究センター)

発表時間 14:30～14:45

O-05. カワウ (*Phalacrocorax carbo*) の羽毛の撥水性に及ぼす尾脂腺成分塗布の影響

- 梶ヶ谷 博, 佐久間 夕佳, 下里 沙織, 佐山 尚也  
(日本獣医生命科学大学 保全生物学)

発表時間 14:45～15:00

O-06. 全国規模での鳥類への鉛曝露：曝露指標として骨の利用の可能性

- 石井 千尋<sup>1</sup>, 中山 翔太<sup>1</sup>, 池中 良徳<sup>1</sup>, Kataba Andrew<sup>1</sup>, 齊藤 慶輔<sup>2</sup>,  
渡辺 有希子<sup>2</sup>, 榎納 好岐<sup>3</sup>, 松川 岳久<sup>4</sup>, 久保田 章乃<sup>4</sup>, 横山 和仁<sup>4</sup>, 水川 葉月<sup>5</sup>,  
平田 岳史<sup>3</sup>, 石塚 真由美<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道大学 毒性学, <sup>2</sup>猛禽類医学研究所, <sup>3</sup>東京大学  
理学, <sup>4</sup>順天堂大学 衛生学, <sup>5</sup>北海道大学 環境獣医科学)

発表時間 15:00～15:15

O-07. 飼育下のウミウ (*Phalacrocorax capillatus*) 3例にみられた全身性大腸菌症の病理学的特徴

- 柳井 徳磨<sup>1</sup>, 西村 奈緒<sup>1</sup>, 山内 麻莉<sup>1</sup>, 大屋 賢司<sup>2</sup>, 平田 暁大<sup>3</sup>, 酒井 洋樹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>岐阜大獣医病理, <sup>2</sup>岐阜大獣医微生物, <sup>3</sup>岐阜大生命科学総合研究支援センター)

発表時間 15:15～15:30

O-08. 関東地方の保護鳥類における血液寄生原虫保有状況

- 犬丸 瑞枝<sup>1</sup>, 中村 溪太<sup>1</sup>, 加藤 わか葉<sup>1</sup>, 佐藤 達夫<sup>2</sup>, 石橋 徹<sup>3</sup>, 金坂 裕<sup>4</sup>,  
仲澤 浩江<sup>5</sup>, 村田 浩一<sup>6</sup>, 佐藤 雪太<sup>1</sup> (<sup>1</sup>日本大 獣医・実験動物, <sup>2</sup>NPO 法人行徳野  
鳥観察舎友の会, <sup>3</sup>いのかしら公園動物病院, <sup>4</sup>Bird Clinic 金坂動物病院, <sup>5</sup>神奈川県自  
然環境保全センター, <sup>6</sup>日本大 動物資源・野生動物)

発表時間 15:30～15:45

O-09. チンパンジーにおける重篤な蟻虫症でアルベンダゾール投与により著効が認められた1例

- 生駒 忍<sup>1</sup>, 藤本 智<sup>1</sup>, 長濱 理生子<sup>2</sup>, 浅川 満彦<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>釧路市動物園, <sup>2</sup>酪農学園大学獣医学類感染・病理学分野)

発表時間 15:45～16:00

O-10. トビエイ *Myliobatis tobijei* の致死性コクシジウム症とその治療

- 岩尾 一<sup>1</sup>, 渋谷 こず恵<sup>1</sup>, 豊田 史佳<sup>2</sup>, 和田 新平<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>新潟市水族館, <sup>2</sup>日本獣医生命科学大・水族医学)

発表時間 16:00～16:15

O-11. 神奈川県の本ドタヌキにおける糞便由来薬剤耐性大腸菌の保有状況

- 清水 孝恵<sup>1,2</sup>, 木戸 伸英<sup>3</sup>, 宮下 尚己<sup>2</sup>, 田中 宗平<sup>3</sup>, 近江谷 知子<sup>3</sup>, 森角 興起<sup>3</sup>, 川原 みのり<sup>3</sup>, 原田 和記<sup>2</sup> (1 山口大学大学院連合獣医学研究科, 2 鳥取大学獣医内科学教室, 3 公益財団法人横浜市緑の協会金沢動物園)

発表時間 16:15～16:30

O-12. 結核を発症したボルネオゾウ (*Elephas maximus borneensis*) における初回発症時および耐性菌発生時の症状と診断法

- 菅 里美<sup>1</sup>, 石川 智史<sup>1</sup>, 吉田 志緒美<sup>2</sup>, 向井 康彦<sup>1</sup>  
(1 福山市立動物園, 2 近畿中央胸部疾患センター)

発表時間 16:30～16:45

O-13. 北海道の襟裳岬と知床半島に棲息・回遊する鰭脚類におけるブルセラ菌感染の血清疫学研究

- 大石 和恵<sup>1</sup>, 阿部 瑛理香<sup>1</sup>, 石名坂 豪<sup>2</sup>, 藤井 啓<sup>3</sup>, 丸山 正<sup>1</sup>  
(1 国立研究開発法人海洋研究開発機構, 2 知床財団, 3 ひれあし研究会)

発表時間 16:45～17:00

O-14. キリンにおける無保定下での静脈注射治療について

- 高橋 拓, 館岡 幸枝, 牛越 利之, 柴田 典広, 川本 朋代, 小川 裕子, 三浦 匡哉, 小松 守 (秋田市大森山動物園)

発表時間 17:00～17:15

O-15. 飼育下キリン (*Giraffa camelopardalis*) における飼料の変更とそれに伴う血清カルシウムおよびリン値の変動

- 山上 達彦<sup>1</sup>, 今井 文子<sup>2</sup>, 渡邊 耕太郎<sup>1</sup>, 石山 峻一郎<sup>1</sup>, 小澤 賢一<sup>1</sup>  
(1 東武動物公園, 2 Mazuri)

発表時間 17:15～17:30

O-16. メトロニダゾール中毒が疑われたセントラルカーペットパイソン (*Morelia bredli*) の一例

- 遠藤 舞, 山崎 倫央, 米澤 彩 (姫路セントラルパーク)

## 口頭発表 2

日時：9月3日（日）13:30～17:30

場所：E棟1階 E111 講義室

※座長は、大会事務局で協議の上、選定した方々にご依頼しております。

（本大会は、前演者が座長を務めるという形式から変更いたしました。）

発表時間 13:30～13:45

O-17. アルファキサロンとプロポフォールを用いたオグロオトメエイの麻酔

○ 柳澤 牧央<sup>1,2</sup>, 矢野 渚<sup>2</sup>, 松本 瑠偉<sup>1,2</sup>, 松崎 章平<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>沖縄美ら島研究センター, <sup>2</sup>沖縄美ら海水族館）

発表時間 13:45～14:00

O-18. アカギツネ (*Vulpes vulpes*) の骨折整復手術におけるアルファキサロンの持続点滴を用いた全静脈麻酔の一例

○ 小島 航太<sup>1</sup>, 福井 大祐<sup>1</sup>, 片山 泰章<sup>1</sup>, 一条 俊浩<sup>1</sup>, 谷津 實<sup>2</sup>, 宇塚 雄次<sup>1</sup>（<sup>1</sup>岩手大学動物病院, <sup>2</sup>宮城蔵王キツネ村）

発表時間 14:00～14:15

O-19. アカカンガルーにおける椎体脱臼の1例について

○ 下川 英子<sup>1,2</sup>, 笠原 辰也<sup>1</sup>, 市村 嘉朗<sup>1</sup>, 谷口 祥介<sup>1</sup>, 三重 慧一郎<sup>3</sup>, 平田 翔吾<sup>3</sup>, 船山 麻理菜<sup>3</sup>, 秋吉 秀保<sup>3</sup>（<sup>1</sup>神戸市立王子動物園, <sup>2</sup>神戸市食肉衛生検査所, <sup>3</sup>大阪府立大学 獣医外科学）

発表時間 14:15～14:30

O-20. マーラ (*Dolichotis patagonum*) の鼻腔内に認められた逆生菌の1例およびマイクロCTの有用性

○ 水主川 剛賢<sup>1,2</sup>, 今井 勇太郎<sup>3</sup>, 佐々井 浩志<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>神戸どうぶつ王国, <sup>2</sup>酪農学園大学大学院, <sup>3</sup>北須磨動物病院）

発表時間 14:30～14:45

O-21. 2016年に日本の動物園で発生したH5N6亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザ

- 笛吹 達史<sup>1</sup>, 曾田 公輔<sup>1</sup>, 伊藤 啓史<sup>1</sup>, 尾崎 弘一<sup>1</sup>, 富岡 幸子<sup>2</sup>, 村瀬 敏之<sup>1</sup>, 今西 鉄也<sup>3</sup>, 黒邊 雅実<sup>3</sup>, 小松 守<sup>4</sup>, 三浦 匡哉<sup>4</sup>, 伊藤 壽啓<sup>1</sup>, 山口 剛士<sup>1</sup> (1鳥取大学 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター, 2鳥取大学 実験動物学, 3名古屋市東山動植物園, 4秋田市大森山動物園)

発表時間 14:45～15:00

O-22. マレーバク (*Tapirus indicus*) に認められた先天性が疑われる横隔膜欠損の1例

- 棚田 晃成, 野田 亜矢子, 野々上 範之, 渡邊 舞菜弥, 南 心司 (広島市安佐動物公園)

発表時間 15:00～15:15

O-23. チーター (*Acinonyx jubatus*) における腎髄質集合管上皮の多発性増殖性病変の検討

- 末廣 桃恵, 宇根 有美 (麻布大学 病理学)

発表時間 15:15～15:30

O-24. 内視鏡を用いたヒグマ (*Ursus arctos*) における子宮内授精の試み

- 柳川 洋二郎<sup>1</sup>, 鳥居 佳子<sup>1</sup>, 菅野 智裕<sup>1</sup>, 田嶋 彩野<sup>1</sup>, 富安 洵平<sup>2</sup>, 松本 直也<sup>3</sup>, 坂元 秀行<sup>3</sup>, 亀井 利活<sup>4</sup>, 間野 勉<sup>4</sup>, 片桐 成二<sup>1</sup>, 永野 昌志<sup>1</sup> (1北海道大学 獣医繁殖, 2帯広畜産大学 獣医繁殖, 3のぼりべつクマ牧場, 4北海道立総合研究機構・環境科学研究センター)

発表時間 15:30～15:45

O-25. 馴化か? 疲憊か? 都市と郊外におけるエゾリスの糞中コルチゾール値の比較

- 寫本 樹<sup>1,2</sup>, 内田 健太<sup>3</sup>, 小泉 逸郎<sup>3</sup>, 松井 基純<sup>2</sup>, 柳川 久<sup>1</sup> (1岩手大学 連合農学研究科, 2帯広畜産大学 獣医臨床繁殖学, 3北海道大学 動物生態学)

発表時間 15:45～16:00

O-26. オオアシトガリネズミの行動特性: 学習能力と脳の形態的特徴

- 亀山 祐一, 新井 敬裕, 下井 岳 (東京農業大学 生物産業学部)

発表時間 16:00～16:15

O-27. 東京都日野市において事故死したタヌキ (*Nyctereutes procyonoides*) の胃内容とロードキル発生との関係

- 青野 早里, 小谷野 侑子, 甚内 美波, 横山 あかり, 杉山 早苗, 梶ヶ谷 博  
(日本獣医生命科学大学 保全生物学)

発表時間 16:15～16:30

O-28. 神奈川県三浦半島の野生化アライグマ (*Procyon lotor*) における集団遺伝学のおよび性年齢構成

- 手塚 透吾, 加藤 卓也, 土井 寛大, 羽山 伸一  
(日本獣医生命科学大学 野生動物学)

発表時間 16:30～16:45

O-29. 道東野生動物保護センターの23年間の野生動物保護教育の報告

- 森田 正治 (道東野生動物保護センター)

発表時間 16:45～17:00

O-30. スナメリ (*Neophocaena asiaeorientalis*) の片眼性網膜剥離

- 進藤 英朗<sup>1</sup>, 河村 景子<sup>1</sup>, 滝山 直昭<sup>2</sup>, 立川 利幸<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>下関市立しものせき水族館, <sup>2</sup>日本大学生物資源科学部獣医学科)

発表時間 17:00～17:15

O-31. キタオットセイ (*Callorhinus ursinus*) における野生個体と飼育下個体の血液性状の差異

- 香山 薫<sup>1</sup>, 猪島 康雄<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>伊豆・三津シーパラダイス, <sup>2</sup>岐阜大学共同獣医学科, <sup>3</sup>岐阜大学大学院連合獣医学研究科)

発表時間 17:15～17:30

O-32. バンドウイルカ (*Tursiops truncatus*) 新生仔の血液性状

- 山本 桂子, 來山 大貴, 小林 利充  
(株)オキナワマリンリサーチセンター)

## ポスター発表

日時：9月2日（土） 9:00～18:00（コアタイム：17:00～18:00）

9月3日（日） 9:00～17:00（コアタイム：12:30～13:30）

場所：A棟2階 アリーナ

- P-01. イタチ科動物呼吸器上皮における鳥インフルエンザウイルスのシアル酸レセプター分布
- 小山 美佳<sup>1</sup>, 笛吹 達史<sup>1,2</sup>, 富岡 幸子<sup>3</sup>, 豊嶋 愛<sup>1</sup>, 仲 滢菜<sup>1</sup>, 亀田 美帆<sup>1</sup>, 勝間 健人<sup>1</sup>, 山口 剛士<sup>1,2</sup> (1鳥取大学 獣医衛生学, 2鳥取大学 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター, 3鳥取大学 実験動物学)
- P-02. ニホンジカにおける壊死桿菌症
- 石黒 佑紀<sup>1</sup>, 齋藤 萌<sup>1</sup>, 村田 亮<sup>2</sup>, 佐野悠人<sup>1</sup>, 松田 一哉<sup>1</sup> (1酪農学園大学 獣医病理学, 2酪農学園大学 獣医細菌学)
- P-03. 国内の水族館で飼育下海水魚に発生した非結核性抗酸菌症について
- 岩永 海空也<sup>1</sup>, 戸田 光亮<sup>1</sup>, 倉田 修<sup>1</sup>, 和田 新平<sup>1</sup>, 藤井 健一<sup>2</sup>, 平 治隆<sup>2</sup> (1日本獣医生命科学大学 水族医学, 2(公財)ふくしま海洋科学館)
- P-04. 水族館飼育ポーキュパインフィッシュ *Diodon nichthemerus* (フグ目ハリセンボン科) の眼球周囲織に寄生した線虫摘出症例と得られた *Cystidicolidae* 科線虫の分類学的検討
- 佐々木 梢<sup>1</sup>, 恩田 紀代子<sup>2</sup>, 宮側 賀美<sup>3</sup>, 喜屋武 樹<sup>3</sup>, 伊東 隆臣<sup>3</sup>, 浅川 満彦<sup>1</sup> (1酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 感染・病理学分野, 2ニフレル, 3大阪・海遊館)
- P-05. 愛玩用爬虫類から得られた寄生蠕虫類とその病因
- 吉田 圭太<sup>1</sup>, 加藤 英明<sup>2</sup>, 浅川 満彦<sup>1</sup> (1酪農学園大学獣医学類, 2静岡大学教育学部)
- P-06. 西表島産野生鳥類から得られた線虫類以外の蠕虫について
- 金谷 麻里杏<sup>1</sup>, 日名 耕司<sup>2</sup>, 浅川 満彦<sup>1</sup> (1酪農大・獣・感染/病理, 2自然環境研究センター)

- P-07. 飼育下ペンギン類から検出された鳥マラリア原虫 MSP-1 遺伝子の系統解析  
 ○ 田村 樹理, 炭山 大輔, 金澤 朋子, 佐藤 雪太, 村田 浩一 (日本大学 生物資源科学部)
- P-08. 野生タンチョウにおける寄生虫保有状況  
 ○ 吉野 智生<sup>1,2</sup>, 飯間 裕子<sup>1,2</sup>, 百瀬 邦和<sup>3</sup>, 志村 良治<sup>1</sup>, 松本 文雄<sup>1</sup>, 浅川 満彦<sup>2</sup> (1釧路市動物園<sup>2</sup>酪農大院・獣医<sup>3</sup>NPO 法人タンチョウ保護研究グループ)
- P-09. 東京都に生息する外来鳥類ガビチョウ (*Garrulax canorus*) の外部寄生虫相.  
 菊池 康樹<sup>1</sup>, ○土井 寛大<sup>1</sup>, 牛根 奈々<sup>1</sup>, 古河 花織<sup>1</sup>, 佐々木 晴子<sup>1</sup>, 加藤 卓也<sup>1</sup>, 野村 亮<sup>2</sup>, 森田 達志<sup>1</sup>, 羽山 伸一<sup>1</sup> (1 日本獣医生命科学大学,<sup>2</sup>NPO 自然環境アカデミー)
- P-10. ニホンジカにおける肝蛭病変の肉眼および組織学的検索  
 ○ 齋藤 萌, 石黒 佑紀, 宮本 直樹, 佐野 悠人, 松田 一哉 (酪農学園大学 獣医病理学)
- P-11. 北海道産ニホンジカから検出されたオンコセルカ亜科糸状虫類の分類学および病理学的な検討  
 ○ 垣内 京香, 石黒 佑紀, 齋藤 萌, 松田 一哉, 浅川 満彦 (酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 感染・病理学分野)
- P-12. 食肉利用を目的としたニホンジカ(*Cervus nippon*)の筋肉における住肉胞子虫 (*Sarcocystis spp.*)のシストの分布  
 ○ 遠藤 友彦<sup>1</sup>, 藤原 史織<sup>2</sup>, 吉村 久志<sup>2</sup>, 山本 昌美<sup>2</sup>, 伊藤 優冴<sup>2</sup>, 山本 俊昭<sup>3</sup>, 梶ヶ谷 博<sup>3</sup> (1株式会社 地域環境計画,<sup>2</sup>日本獣医生命科学大学 病態病理学,<sup>3</sup>日本獣医生命科学大学 保全生物学)
- P-13. モンゴル国ウランバートルの半野生化したイヌにおける寄生蠕虫類保有状況調査—特に同国の野生哺乳類におけるエキノコックス属条虫保有状況との関連性  
 ○ 長濱 理生子<sup>1</sup>, Enkhtuya Byambanyam<sup>2</sup>, Gantigmaa Chuluunbaatar<sup>2</sup>, 岡本 宗裕<sup>3</sup>, 柳田 哲矢<sup>4</sup>, 伊藤 亮<sup>5</sup>, 浅川 満彦<sup>1</sup> (1酪農学園大学 獣医学群 獣医学類,<sup>2</sup>Institute of General and Experimental Biology, Mongolian Academy of Science,<sup>3</sup>京都大学 霊長類研究所,<sup>4</sup>山口大学 共同獣医学部 寄生虫学教室,<sup>5</sup>旭川医科大学 医学部 寄生虫学講座)
- P-14. トド(*Eumetopias jubatus*)におけるエキノコックス症の2例  
 ○ 松田 佳奈<sup>1</sup>, 横川 悠<sup>1</sup>, 上野 栞<sup>1</sup>, 疋田 知奈都<sup>1</sup>, 向田 万紀<sup>1</sup>, 青木 康雄<sup>1</sup>, 岡本 実<sup>1,2</sup> (1酪農大・感染病理,<sup>2</sup>酪農大付属動物医療センター病理検査科)

P-15. ハンドウイルカの致死性播種性トキソプラズマ症の1例

- 上野 栞<sup>1</sup>, 神尾 高志<sup>2</sup>, 疋田 知奈都<sup>1</sup>, 松田 佳奈<sup>1</sup>, 向田 万紀<sup>1</sup>, 横川 悠<sup>1</sup>, 青木 康雄<sup>1</sup>, 岡本 実<sup>1,2</sup> (1 酪農大獣医, <sup>2</sup>Dolphin Pacific, <sup>3</sup>酪農大動物医療センター 病理検査科)

P-16. 動物園飼育哺乳類における寄生蠕虫症の回顧的調査 (続報)

- 近本 翔太<sup>1</sup>, 吉野 智生<sup>2</sup>, 志村 良治<sup>2</sup>, 浅川 満彦<sup>1</sup> (1 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 感染・病理学分野 <sup>2</sup> 釧路市動物園)

P-17. 飼育下カマイルカにおける糞中の性ホルモン動態を指標とした繁殖生理状態の低侵襲的モニタリング

- 松崎 那奈子<sup>1</sup>, 楠田 哲士<sup>1</sup>, 船坂 徳子<sup>2,3</sup>, 大曲 和海<sup>1</sup>, 桐畑 哲雄<sup>3</sup>, 櫻井 夏子<sup>4</sup>, 清水 崇<sup>5</sup>, 石川 恵<sup>6</sup>, 伊藤 このみ<sup>6</sup>, 土井 守<sup>1</sup> (1 岐阜大学 動物繁殖, <sup>2</sup>三重大学 生物資源, <sup>3</sup>太地町立くじらの博物館, <sup>4</sup>南知多ビーチランド, <sup>5</sup>城崎マリワールド, <sup>6</sup>大阪・海遊館)

P-18. エストロジェン類高感度分析法の開発と野生動物におけるスクリーニング

- 新屋 惣<sup>1</sup>, 池中 良徳<sup>1</sup>, 中山 翔太<sup>1</sup>, 石井 千尋<sup>1</sup>, 水川 葉月<sup>2</sup>, 伊藤 真輝<sup>3</sup>, 高江洲 昇<sup>3</sup>, 大澤 夏生<sup>3</sup>, 綿貫 豊<sup>4</sup>, 石塚 真由美<sup>1</sup> (1 北海道大学 毒性, <sup>2</sup>北海道大学 環境獣医科学分野, <sup>3</sup>札幌市円山動物園, <sup>4</sup>北海道大学 水産科学研究院)

P-19. 飼育下メスライオン (*Panthera leo*) の発情周期把握のためのモニタリング

- 川瀬 啓祐<sup>1</sup>, 富安 洵平<sup>2,3</sup>, 森田 藍<sup>1</sup>, 伴 和幸<sup>1</sup>, 小野 亮輔<sup>1</sup>, 齊藤 礼<sup>1</sup>, 松井 基純<sup>2,3</sup>, 椎原 春一<sup>1</sup> (1 大牟田市動物園, <sup>2</sup>帯広畜産大学, <sup>3</sup>岐阜大学大学院連合獣医学研究科)

P-20. 飼育下リカオンにおける妊娠および偽妊娠の糞中プロゲステルオン上昇期の同調

- 星野 智<sup>1</sup>, 楠田 哲士<sup>1</sup>, 田島 俊一郎<sup>2</sup>, 石田 真菜<sup>2</sup>, 宮本 知佳<sup>2</sup>, 土井 守<sup>1</sup> (1 岐阜大学 動物繁殖, <sup>2</sup>よこはま動物園)

P-21. 飼育下の雌ユーラシアカワウソにおける卵巣活動の内分泌モニタリング

- 今井 千尋<sup>1</sup>, 楠田 哲士<sup>1,2</sup>, 谷澤 果南<sup>1</sup>, 伊藤 咲良<sup>2,3</sup>, 穴田 美佳<sup>2,4</sup>, 牧 真三子<sup>3</sup>, 屋野丸 勢津子<sup>2,5</sup>, 竹田 正人<sup>2,6</sup>, 土井 守<sup>1</sup> (1 岐阜大学 動物繁殖, <sup>2</sup>日本動物園水族館協会, <sup>3</sup>よこはま動物園, <sup>4</sup>富山市ファミリーパーク, <sup>5</sup>広島市安佐動物公園, <sup>6</sup>宮崎市フェニックス自然動物園)

- P-22. ジャワヤマアラシ (*Hystrix javanica*) 精巣におけるステロイドホルモン合成とステロイドホルモンレセプターの局在に関する免疫組織化学的研究
- ヌリアニ アンニ<sup>1,2,3</sup>, 佐々木 基樹<sup>1,2</sup>, 坪田 敏男<sup>4</sup>, プティピトジョ テグ<sup>5</sup>, 北村 延夫<sup>1,2</sup> (1岐阜大学大学院 連合獣医学研究科, 2帯広畜産大学 獣医学研究部門, 3ランブンマンクラート大学 理学部, 4北海道大学大学院 獣医学研究院, 5ガジャマダ大学 獣医学部)
- P-23. 飼育下アメリカマナティーの卵巢周期と同居2個体間の周期 の同調
- 楠田 哲士<sup>1,2</sup>, 山本 みのり<sup>1,2</sup>, 柳澤 牧央<sup>3</sup>, 中曾根 亮<sup>3</sup>, 植田 啓一<sup>3</sup>, 徳武 浩司<sup>3</sup>, 土井 守<sup>1,2</sup>, 吉岡 基<sup>4</sup> (1岐阜大学 動物繁殖, 2同 動物園生物学研究センター, 3沖縄美ら島財団, 4三重大学 生物資源)
- P-24. 飼育下アフリカゾウ1個体から採取した精液の輸送後および凍結融解後の精子性状
- 鳥居 佳子<sup>1</sup>, 菅野 智裕<sup>1</sup>, 曾地 千尋<sup>2</sup>, 宗内 一平<sup>2</sup>, 牛尾 佳名子<sup>2</sup>, 吉住 和規<sup>2</sup>, 千田 圭<sup>2</sup>, 橋本 渉<sup>2</sup>, 永野 昌志<sup>1</sup>, 片桐 成二<sup>1</sup>, 柳川 洋二郎<sup>1</sup> (1北海道大学 獣医繁殖, 2八木山動物公園)
- P-25. ツシマヤマネコにおける死体および救護個体の血液と眼房水を用いた性ステロイドホルモン濃度測定による野外での繁殖状態の推定
- 杉村 春佳<sup>1,2</sup>, 楠田 哲士<sup>1,2</sup>, 箕浦 千咲<sup>3</sup>, 國吉 沙和子<sup>3</sup>, 山本 英恵<sup>3</sup>, 土井 守<sup>1,2</sup> (1岐阜大学 動物繁殖, 2同 動物園生物学研究センター, 3環境省対馬野生生物保護センター)
- P-26. ヤクシカにおける糞中性ステロイドホルモン濃度の季節変化—エゾシカと比較して—
- 木下 こづえ<sup>1</sup>, 揚妻 - 柳原 芳美<sup>2</sup>, 揚妻 直樹<sup>3</sup>, 杉浦 秀樹<sup>1</sup>, 半谷 吾郎<sup>4</sup>, 早川 卓志<sup>4</sup>, 柳川 洋二郎<sup>5</sup> (1京都大学 野生動物研究センター, 2Waku Doki サイエンス工房, 3北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター, 4京都大学 霊長類研究所, 5北海道大学 獣医学研究院)
- P-27. 飼育下ブタバナガメにおける血中性ホルモン濃度と血液生化学値および腹部超音波画像からみた繁殖活動の長期モニタリング
- 前田 佳紀<sup>1,2</sup>, 楠田 哲士<sup>1,2</sup>, 吉川 晶子<sup>1</sup>, 柿添 裕香<sup>3</sup>, 伊藤 美穂<sup>3</sup>, 平野 幸恵<sup>3</sup>, 加古 智哉<sup>1,3</sup>, 土井 守<sup>1,2</sup>, 日登 弘<sup>3</sup> (1岐阜大学 動物繁殖, 2同 動物園生物学研究センター, 3名古屋みなと振興財団 名古屋港水族館)

- P-28. オオカンガルー (*Macropus giganteus*) における被毛中コルチゾール含有量の変動要因について
- 東 美緒<sup>1</sup>, 外平 友佳理<sup>2</sup>, 佐野 忠士<sup>3</sup>, 鈴木 一由<sup>1</sup>, 浅川 満彦<sup>1</sup>, 林 英明<sup>1</sup> (1 酪農学園大学獣医, 2 到津の森動物公園, 3 酪農学園大学獣医保健看護)
- P-29. 排泄物中コルチゾール濃度測定を用いた飼育下コアラ (*Phascolarctos cinereus*) のストレスモニタリングの検討
- 宮川 悦子<sup>1</sup>, 柴田 枝梨<sup>1</sup>, 矢口 茜<sup>1</sup>, 木下 こづえ<sup>2</sup> (1 (公財) 横浜市緑の協会金沢動物園, 2 京都大学野生動物研究センター)
- P-30. フンボルトペンギン(*Spheniscus humboldti*)雛の含気毛細管拡張不全の1例
- 向田 万紀<sup>1</sup>, 疋田 知奈都<sup>1</sup>, 松田 佳奈<sup>1</sup>, 馬場 智恵美<sup>1</sup>, 上野 栞<sup>2</sup>, 横川 悠<sup>1</sup>, 岡本 実<sup>1,2</sup> (1 酪農大獣医 感染病理, 2 酪農大付属動物医療センター病理検査科)
- P-31. 日本海南西部沿岸で座礁したスナメリ (*Neophocaena phocaeno*) にみられた肺病変について
- 鈴木 絢子<sup>1</sup>, 島崎 美里<sup>1</sup>, 戸田 遥香<sup>1</sup>, 倉田 修<sup>1</sup>, 和田 新平<sup>1</sup>, 田島 木綿子<sup>2</sup>, 山田 格<sup>2</sup>, 森田 達志<sup>3</sup>, 塩崎 彬<sup>4</sup>, 天野 雅男<sup>4</sup> (1 日本獣医生命科学大学 水族医学, 2 国立科学博物館 動物研究部, 3 日本獣医生命科学大学 獣医寄生虫学, 4 長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科)
- P-32. 重篤な化膿性気管支肺炎を伴う座礁スジイルカ (*Stenella coeruleoalba*) の一例
- 西端 健人<sup>1</sup>, 倉田 修<sup>1</sup>, 和田 新平<sup>1</sup>, 田島 木綿子<sup>2</sup>, 山田 格<sup>2</sup> (1 日本獣医生命科学大学 水族医学, 2 国立科学博物館 動物研究部)
- P-33. エゾヒグマ (*Ursus arctos lasiotus*) 急性肺動脈血栓塞栓症の1例
- 馬場 智恵美<sup>1</sup>, 松田 佳奈<sup>1</sup>, 松本 直也<sup>2</sup>, 坂元秀行<sup>2</sup>, 鳴海 誠<sup>2</sup>, 疋田 知奈都<sup>1</sup>, 向田 万紀<sup>1</sup>, 横川 悠<sup>1</sup>, 上野栞<sup>1</sup>, 青木 康雄<sup>1</sup>, 林 優樹<sup>1</sup>, 岡本 実<sup>1,3</sup>  
(1 酪農大獣医, 2 のぼりべつクマ牧場, 3 酪農大動物医療センター 病理検査科)
- P-34. フンボルトペンギン (*Spheniscus humboldti*) 前胃印環細胞癌の1例
- 疋田 知奈都<sup>1</sup>, 角川 雅俊<sup>2</sup>, 横川 悠<sup>1</sup>, 上野 栞<sup>1</sup>, 向田 万紀<sup>1</sup>, 松田 佳奈<sup>1</sup>, 馬場 智恵美<sup>1</sup>, 岡本 実<sup>1,3</sup> (1 酪農大獣医 感染病理, 2 小樽水族館公社, 3 酪農大付属動物医療センター病理検査科)

- P-35. カリフォルニアアシカ (*Zalophus californianus*) において重複癌が見られた一例  
○ 近藤 圭佑<sup>1</sup>, 西木 夏帆<sup>2</sup>, 宇根 由美<sup>2</sup> (1 マリンワールド海の中道, 2 麻布大学 獣医病理)
- P-36. 子宮内膜症とリンパ腫により死亡したシシオザル (*Macaca silenus*) の1例  
○ 植田 美弥<sup>1,2</sup>, 東野 晃典<sup>1</sup>, 野村 美佳<sup>1</sup>, 緒形 倫子<sup>1</sup>, 和田 新平<sup>2</sup> (1 (公財) 横浜市緑の協会 よこはま動物園, 2 日本獣医生命科学大学 病態獣医学部門)
- P-37. ツシマヤマネコ (*Prionailurus bengalensis euptilurus*) にみられた閉塞性黄疸を伴う胆管癌の1例  
○ 山内 麻莉<sup>1</sup>, 篠崎 亜也子<sup>2</sup>, 平田 暁大<sup>3</sup>, 酒井 洋樹<sup>1</sup>, 柳井 徳磨<sup>1</sup> (1 岐阜大学 獣医病理学, 2 福岡市動物園, 3 岐阜大学 生命科学総合研究支援センター)
- P-38. 飼育下バイカルアザラシ (*Pusa sibirica*) における *Mycobacterium chelonae* による肉芽腫性皮膚炎の一例  
○ 峰 壮史<sup>1</sup>, 岩永 海空也<sup>1</sup>, 和田 新平<sup>1</sup>, 倉田 修<sup>1</sup>, 松岡 由子<sup>2</sup> (1 日本獣医生命科学大学 水族医学研究室, 2 滋賀県立琵琶湖博物館)
- P-39. 潜在性鉄欠乏によるホッキョクグマの常同行動時に見られる足裏出血の増悪  
○ 生駒 忍, 大場 秀幸, 藤本 智 (釧路市動物園)
- P-40. ‘食わず病’ 発生農場におけるウシ被毛中微量元素濃度に関する研究  
○ 菅 純子<sup>1</sup>, 鯉江 洋<sup>1</sup>, 衛藤 誠<sup>2</sup>, 中山 駿矢<sup>1</sup>, 金山 喜一<sup>1</sup>  
(1 日本大学 獣医生理学研究室, 2 NOSAI おおいた)
- P-41. ハズバンダリートレーニングを用いたレッサーパンダ (*Ailurus fulgens*) 血圧測定の確立  
○ 森田 藍<sup>1</sup>, 河野 成史<sup>1</sup>, 川瀬 啓祐<sup>1</sup>, 松尾 愛<sup>1</sup>, 野田 理沙<sup>1</sup>, 野田 万央<sup>1</sup>, 鯉江 洋<sup>2</sup>, 椎原 春一<sup>1</sup> (1 大牟田市動物園, 2 日本大学獣医生理学)
- P-42. 非拘束・無侵襲下におけるアミメキリンの血圧測定に関する研究  
○ 築場 未来<sup>1</sup>, 鯉江 洋<sup>1</sup>, 中山 駿矢<sup>1</sup>, 森田 藍<sup>2</sup>, 河野 成史<sup>2</sup>, 椎原 春一<sup>2</sup>, 柴田 典弘<sup>3</sup>, 小川 裕子<sup>3</sup>, 小松 守<sup>3</sup>, 金山 喜一<sup>1</sup> (1 日本大学獣医生理学, 2 大牟田市動物園, 3 秋田市大森山動物園)
- P-43. タンチョウ (*Grus japonensis*) の血液学, 血液生化学的正常値の検討  
○ 飯間 裕子<sup>1,2</sup>, 愛 高行<sup>1</sup>, 吉野 智生<sup>1,2</sup> (1 釧路市動物園, 2 酪農大院・獣医)

- P-44. 高齢動物より樹立した線維芽細胞の老化評価マーカーおよび細胞機能評価法の検討
- 東 里香<sup>1</sup>, 野田 義博<sup>2</sup>, 久保 盛恵<sup>3</sup>, 野々上 範之<sup>3</sup>, 鷺津 朱理<sup>4</sup>, 小笠原 里奈<sup>4</sup>, 小木曾 力<sup>4</sup>, 細井 美彦<sup>1,4,5</sup>, 安齋 政幸<sup>1,5</sup> (1近畿大学大学院生物理工学研究科, 2(地独)東京都健康長寿医療センター研究所, 3広島市安佐動物園, 4近畿大学生物理工学部, 5近畿大学先端技術総合研究所)
- P-45. 糞より抽出した DNA を用いたカワネズミ *Chimarrogale platycephala* の雌雄判別の試み
- 平澤 桂<sup>1</sup>, 永山 駿<sup>1</sup>, 戸倉 溪太<sup>1</sup>, 平 治隆<sup>2</sup>, 柳本 卓<sup>3</sup>, ○岩田 恵理<sup>4</sup>
- (1アクアマリンいなわしろカワセミ水族館, 2(公財)ふくしま海洋科学館, 3(国研)水産機構 中央水研, 4いわき明星大学 動物行動学)
- P-46. 保全医学的観点からみた群馬県高崎市における野生化アライグマ (*Procyon lotor*) の生息地利用に関する検討
- 加藤 卓也<sup>1,2</sup>, 杉浦 奈都子<sup>1</sup>, 手塚 透吾<sup>1</sup>, 土井 寛大<sup>1</sup>, 山崎 文晶<sup>1</sup>, 若澤 英明<sup>1</sup>, 川道 美枝子<sup>2</sup>, 羽山 伸一<sup>1</sup> (1日本獣医生命科学大学 野生動物学, 2関西野生生物研究所)
- P-47. わが国の動物看護学課程における野生動物(医)学教育内容を考えるー獣医コアカリとの比較から
- 浅川 満彦 (酪農学園大学 獣医学群)
- P-48. The Journal of Veterinary Medical Science に掲載された野生動物科学分野論文について
- 木村 順平<sup>1</sup>, Sohn Joonhyuk<sup>1</sup>, 福井 大祐<sup>2</sup>, 坪田 敏男<sup>3</sup> (1ソウル大学, 2岩手大学, 3北海道大学)